

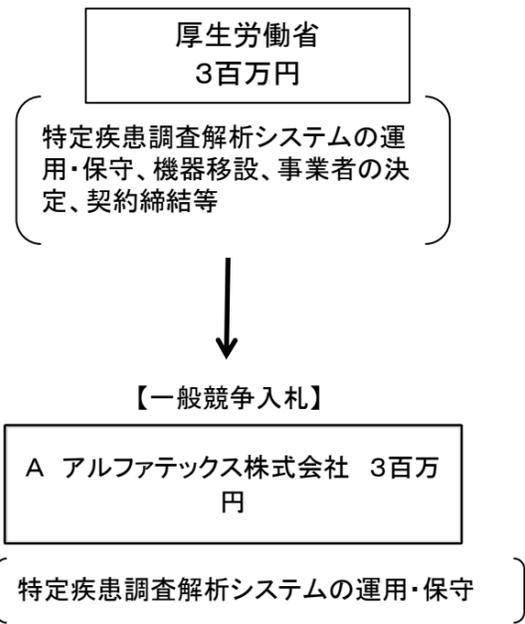
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定疾患調査解析システム開発等経費		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定疾患治療研究対象者の申請の際に提出される臨床調査個人票(診断書)のデータを利用し、研究班における研究の促進を図る。また、認定の際に特定疾患調査解析システムを参考に利用し、適正かつ全国統一的な判定、審査業務及び認定業務の省力化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県の特定疾患対策協議会において、特定疾患調査解析システムを用いた特定疾患の一次判定を行うとともに、難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究班に対し臨床データの提供を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	32	8	4	4	4
		補正予算					
		繰越し等					
	計	32	8	4	4	4	
	執行額	8	7	3			
執行率(%)	25%	88%	75%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	難治性疾患克服研究事業研究班からの申請数	成果実績		件	22	25	19
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	都道府県のシステム入力数	活動実績 (当初見込み)		-	552,626	618,498	489,156
				706,720	778,178	823,779	-
単位当たりコスト	8.2(円/件)		算出根拠	単位あたりコストは、Xを平成24年度予算額(4百万円)、Yは上記活動実績の平成24年度数(489,156件)としている。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	運用・保守	4	4				
	計	4	4				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	難病患者のデータ収集等に必要な経費であり、国費投入が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が所有しているシステムの運用経費である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	難病患者の認定適正化の観点からも優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札による業者選定をしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要経費のみを精算払いしている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札減による。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	全数入力が望ましいが、入力率は〇〇%にとどまっている。	
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	特定疾患調査解析システムで集約した情報を研究利用している。	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	都道府県から送付される臨床データは本システムを介して国に集約された上、難治性疾患克服研究事業の研究班により毎年使用されており、平成24年度においても利用実績をあげており、都道府県の入力に関しては平成25年度においても更に入力される事例が多いことから活用度は高く、引き続き事業を実施する必要がある。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	特定疾患患者の臨床データを集約し、研究利用することにより特定疾患の治療法確立を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	168	平成23年	145	平成24年	117

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万
円)

A.アルファテックス株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
運用・保守	特定疾患調査解析システムの運用・保守	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アルファテックス株式会社	特定疾患調査解析システムの保守・運用	3	3	77%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					